

○第４８回（平成３０年３月２２日） 評価委員会評価

平成３０年度連携排砂計画（案）及び連携排砂に伴う環境調査計画（案）については、了承する。

ダムから排出される粒度構成及びダムおよび下流河道・海域における土砂動態の予測について、関係機関・関係団体へ丁寧に説明を行うとともに、連携排砂後に環境調査結果の分析を行って、その実態把握に努めること。

平成１６年度以降の海域の植物プランクトン生物相変化要因は、調査時期の違いが関係していると考えられる。今後は、原則として調査時期および調査地点を変えないこと。

河川の付着藻類調査については、専門家に意見を聞きながら、引き続き、情報収集を図ること。

宇奈月ダム貯水池内地質調査（ボーリング）については、事前検討を十分に行った上で、実施すること。

以 上